

教科 Subject	国語科		科目 Course	国語総合（現代文）	学年 Grade	1	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	精選 国語総合（大修館）			副教材Additional Text /materials	精選 国語総合学習課題ノート（大修館） 漢検 漢字学習トレーニング 3/準2/2級（日本漢字能力検定協会）			
科目の目標 Course Objectives		様々な文章を読解し、事物に対する認識や考察力を高め、正確な理解力と深い洞察力を身につける。 副教材を活用する事で、漢字の知識や読解力など、基礎的な力を養成する。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験（80%）、提出物・授業態度（20%）の総合評価						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	随想Ⅰ 挑戦		* 基礎問題集は定期的に解いていく。 * 漢字問題集の範囲を指定し、授業で小テストを実施する。 随筆の読解方法を学ぶ。表現を読み取り、筆者の主張を正確に捉える。 文学史において、著名な作品を読解する。 現代小説を読み、心情を読み取る。 評論を読み、論理展開を押さえ、筆者の主張を理解する。			
		2						
		3						
	5	4	小説Ⅰ 羅生門					
		5						
6	6							
	7	評論Ⅰ 水の東西						
7	8	9						
		10	詩 螿のうへ					
	11	一つのメルヘン						
12	自分の感受性くらい		(1つ選択、残りは朗読程度)					
2 学期	9	13	評論Ⅱ 動的平衡としての生物多様性		筆者の論理性をもったアプローチを理解し、内容を読み解くとともに、人生観や価値観を育む。 場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。 作品の構造や作者の工夫を正確に読み取り、小説のおもしろさを理解する。 近代短歌、近代俳句を学ばせることで、短文による日本文学の良さを発見し、学ぶ。 (生徒に一首選ばせて、調べ学習の後、発表)			
		14						
		15						
		16	小説Ⅱ 鏡					
	10	17						
		18						
	11	19	日本語 短歌を訳す-言葉の壁を越えて(参考程度)					
		20	短歌 十五首					
	12	21	俳句 十二句					
		22						
23	評論Ⅱ 自然と人間の関係をとおして考える		論理的な構成を理解し、筆者の主張を読み取る。 筆者の発想の豊かさや視点のおもしろさに着目し、表現の巧みさを理解する。					
	24							
25								
	26							
3 学期	1	27	評論Ⅲ 白		ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 論理的な構成を理解し、自己の表現活動に繋げる。 プロレタリア文学について理解し、今日にも繋がる人間疎外の状況を捉える。 宮沢賢治の小説の世界を体感する。 独特の言葉の使い方など、作品の世界観を丁寧に読み取る。			
		28						
		29						
	2	30	小説Ⅲ セメント樽の中の手紙					
		31	なめとこ山の熊(読書程度)					
		32						
	3	33						
		34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

現代文は、随筆や小説、評論など、さまざまな文章を読む事で、自分自身のものの見方や考え方を深め、広げていく事ができる科目です。一つ一つの文章と向き合い、自身の価値観や人生観を見つめ直し、確立させていくのに役立てましょう。

また、短歌や俳句は日本が誇る言語芸術です。作品の世界観を楽しみ、日本文化への理解を深めましょう。

高校1年生は大学受験へ向けての基礎力を養う学年ですので、問題演習や漢字の学習も怠らずにしっかり行ってください。

教科 Subject	国語科		科目 Course	国語総合（古典）	学年 Grade	1	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	精選 国語総合（大修館）			副教材Additional Text /materials	精選 国語総合学習課題ノート（大修館） 古典文法・演習ドリル、漢文句法・演習ドリル（旺文社）			
科目の目標 Course Objectives		古典に親しむことで、古代から現代へ繋がる言語文化に関心を持つ						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験（80%）、提出物・授業態度（20%）の総合評価						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	古文のとびら		古文の基礎知識（歴史的仮名遣いなど）の確認 動詞の復習をしながら、古典単語の意味を知る。 説話集の特色を理解し、古文に親しむ 音読の練習をする。 芥川龍之介「地獄変」と読み比べる。			
		2	沙石集「ねずみの婿とり」					
		3						
	5	4	宇治拾遺物語「絵仏師良秀」		音読の練習をする。 芥川龍之介「地獄変」と読み比べる。			
		5						
	6	6	（古典文法：古典入門を丁寧にくり返し学習する）		係り結びの法則を正確に理解する。 漢文訓読の決まりを学ぶ。 返読文字、再読文字を覚える。			
		7						
8								
2 学期	9	9	枕草子「はしたなきもの」		中学で学習した「春はあけぼの」を思い出ししながら、枕草子の文学的特徴について理解する。 新出の助動詞について学習するとともに敬語表現を理解する。 主語の省略に注意しながら、現代語訳の練習に取り組む。 歌物語の特徴をつかみ、和歌の表現技法について学ぶ。 作中の登場人物の心情を理解する。 作中の作者の心情を理解し、情趣を読み取る。 和歌にこめられた心情を捉える。 漢文の重要語句、重要句法について学ぶ。 孔子や孟子の思想を読み、儒家思想について理解する。 漢文訓読の上達を目指す。			
		10	伊勢物語「筒井筒」 *どちらかを選択 伊勢物語「あづき弓」 （平安時代の恋愛・結婚のあり方を理解する）					
		11	孔子と孟子の思想					
		12	（漢文句法：置き字、返読文字、再読文字）					
3 学期	1	13	枕草子「はしたなきもの」		和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		14						
		15	（古典文法：動詞について徹底的に学習する）					
	2	16			和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		17						
		18						
3	19	孔子と孟子の思想		和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）				
	20							
	21	（漢文句法：置き字、返読文字、再読文字）						
3 学期	2	22	孔子と孟子の思想		和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		23						
		24	（漢文句法：置き字、返読文字、再読文字）					
3 学期	3	25			和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		26						
3 学期	3	27	万葉集		和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		28	土佐日記「門出」					
3 学期	3	29	（古典文法：形容詞、形容動詞を学習し、 助動詞を進められるだけ進める。）		和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		30						
3 学期	3	31	先従隗始		和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		32						
3 学期	3	33	（漢文句法：否定、不可能・禁止、疑問・反語）		和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		34						
3 学期	3	35			和歌について、基礎知識を復習し、掛詞などの技法に注意して読解する。文学史的意義を理解する。 日記文学について理解する。 （助動詞：「ず」「けり」など頻出から学習すること）			
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

古典を学ぶ事で、昔の人々が何を考え感じたのか、どのように生きたかを知る事は、現代に生きる私たちの生活のヒントにもなります。高校からの勉強は、多様なものの見方や考え方を知り、自分の知識の幅を広げることも重要です。暗記させられるものとして古文や漢文を学ぶのではなく、新しい思考のため、日本の文化のルーツや言語表現について学ぶために、積極的に学習を進めていきましょう。

教科 Subject	国語科		科目 Course	現代文B	学年 Grade	2	単位数 Credits	3
教科書 Textbook	新編 現代文B (大修館)			副教材Additional Text /materials	新編 現代文B 現代文学習課題ノート (大修館) 漢検 漢字学習トレーニング 3/準2/2級 (日本漢字能力検定協会)			
科目の目標 Course Objectives		様々な文章を読解し、自己の認識との検証を進めるなかで、正確な理解力と深い洞察力を身につける。 大学入試を意識して問題集を活用し、読解・解答作成の基礎を身につけさせる。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験 (80%)、提出物・授業態度 (20%) の総合評価						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	「迷う」力のすばらしさ		・筆者の考えを読み取り、自分の現在や明日について考えを深める。 ・時間の経過をおさえながら、登場人物の心情を読み解く。			
		2	ナイン					
		3						
	5	4	言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの		・日常で使われている言葉を見つめ直し、日本語の豊かさに目を向ける。 ・社会の中で使われる文章や表現に触れ、その意図や効果を考える。			
		5						
	6	6	情報の力関係		・古典の現代における意味や日本文化の特質について考えを深める。 ・近代から現代までの詩に触れ、その表現の豊さを味わう。 ・作品のリズムや響きを考えながら工夫して音読をする。			
		7						
8								
9								
7	10	殺し文句は永遠に—恋する伊勢物語		・近代から現代までの詩に触れ、その表現の豊さを味わう。 ・作品のリズムや響きを考えながら工夫して音読をする。				
	11	小諸なる古城のほitori						
2 学期	9	12	小景異情/六月/コスモス		・ユーモアや人間性に富んだ、特色のある文章を楽しむ。 ・生き物の生態や現代における「自然」のあり方について考えを深める。 ・生き物の進化の流れを捉える。			
		13	ももこのいきもの図鑑 (読書程度)					
		14	ゴリラの思いやり ウサギの耳はなぜ長い?					
		15						
	10	16	山月記		・近代文学の名作を、登場人物の性格や心情に着目して読み味わう。 ・場面ごとに分けて、内容を正しく理解する。 ・人情の機微に触れた小説を読み、人と人のつながりを考える。			
		17						
		18						
	11	19	おぼろ月		・現代における技術の進歩と人間の関わり方について考える。 ・働くことへの筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつ。			
		20						
		21						
		22						
	12	23	人工の自然—科学技術時代の今を生きるために		・現代における技術の進歩と人間の関わり方について考える。 ・働くことへの筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつ。			
24								
25								
26								
3 学期	1	27	家族化するペット		・現代における家族のあり方や情報社会の問題点について、筆者の主張を読み取る。 ・近代文学の名作を味わい、場面の推移や登場人物の心情の移り変わりを読み取る。			
		28	こころ					
		29						
	2	30	こころ		・近代文学の名作を味わい、場面の推移や登場人物の心情の移り変わりを読み取る。			
		31						
		32						
	3	33	こころ		・近代文学の名作を味わい、場面の推移や登場人物の心情の移り変わりを読み取る。			
		34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

高校一年生時の文章に比べ、なかなか一度読んだだけでは理解しにくいものが多いと思います。そこであきらめず、筆者がなにを伝えたいのか、描写の中にどのような工夫がされているのかを、粘り強く何度も読み返して考えてください。特に、小説を読むときは自分の感想・解釈をもつことがとても大切です。また、「ただひとつの答え」を求めるのではなく、その作品がもつ書体の違いや魅力、表現の豊かさを楽しんで欲しいと思います。

教科 Subject	国語科		科目 Course	古典B	学年 Grade	2	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	新編 古典B (大修館)			副教材Additional Text /materials	新編古典B学習課題ノート (大修館) さくらさく古文単語 (浜島書店) 古典文法・演習ドリル、漢文句法・演習ドリル (旺文社)			
科目の目標 Course Objectives		古文に関してはさまざまなジャンルの古典作品を学ぶことで日本の伝統・文化を理解する。漢文に関してはより長文を読んでいくことで、中国古典に対する理解を深め、日本文化に与えた影響を知る。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験、提出物・授業態度 (20%) の総合評価						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	1年間の学習予告			学習概要の説明、授業の進め方や予習方法、評価方法の説明 【説話の特色理解】 ・音読の重要性、歴史的仮名遣いの復習、用言などの復習 【随筆の特色理解】 ・助動詞や係り結びなどの復習、現代語訳の練習 ・随筆作品に描かれる作者の思想、心情、文体の理解 【漢文の基礎】 ・訓点、助字、置き字、再読文字の理解 ・書き下し文、現代語訳の練習 ・故事成語の知識		
		2	説話 今昔物語集『安倍晴明』					
		3						
	5	4	随筆 徒然草『今日はそのことをなさんと思へど』					
		5						
	6	故事成語 『漁夫之利』『借虎威』(読書程度) 『蛇足』(文法確認及び解説)						
	6	7	(漢文句法: 使役、受け身、仮定、限定)					
10		(古典文法: 助動詞をすべて学習する)						
2 学期	9	13	伊勢物語『あずま下り』					
		14						
		15						
		16	平家物語『祇園精舎』					
	10	17						
		18						
		19	史記『四面楚歌』					
	11	20	(漢文句法: 願望、詠嘆)					
		21						
		22						
12	23	方丈記『ゆく河の流れ』						
	24							
	25							
	26	(古典文法: 助詞をすべて学習する)						
3 学期	1	27	百人一首					
		28						
		29	漢詩『絶句』『贈別』(*『春望』)					
	2	30	(漢文句法: 残り全部)					
		31						
		32						
	3	33	更級日記『あこがれ』					
		34						
		35	(古典文法: 敬語を学習する)					
和歌の特色理解		和歌のきまり、表現技法の理解と和歌の世界観を味わう						
【中国詩の特色理解】		唐詩の復習を経て、古詩への理解に繋げる 唐詩、古詩の形式やきまりを学習する						
【日記文学の特色理解】		作者の心情、文体の理解と時代背景の理解 文法の復習						

履修者へのメッセージ Message for Students

まず、この一年間で古典文法の基本をすべて学習する。動詞・助動詞・敬語法の三本柱の知識を盤石なものとしたい。授業ではできるだけさまざまなジャンルの作品を読み、その特徴や基礎知識を身につけていく。漢文については副教材の「漢文基本ノート」の習得を目指し、授業教材の中で知識を確認していく。古文・漢文ともに毎回必ず予習をし、自らの力でノート作りをすること。授業では自身の弱点発見と新しい学習事項の吸収に全力で臨んでほしい。たいへんな学習量となるがこの地道な作業を一年間続けることで受験に堪える学力が身につくと信じ、努力してほしい。

教科 Subject	国語科		科目 Course	国語表現	学年 Grade	2	単位数 Credits	3
教科書 Textbook	国語表現 (教育出版)			副教材Additional Text /materials	国語表現演習ノート (教育出版)			
科目の目標 Course Objectives		自分の考えを他者に伝える「書く力」「話す力」を身につけるとともに高め、社会生活や大学受験で求められるコミュニケーション能力を養っていく。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験 (70%)、課題の完成度・発表する力 (30%) を評価する。						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents	到達目標 Students will be able to ~				
1 学期	4	1	1 言葉に変える	演習ノートを用いて、仮名遣いや送り仮名について復習し、表現について学んだ後、視写や聴写を通して表現する力を養う。 発声方法や文章の読み方について学び、実際にスピーチをすることで、相手にわかりやすく伝達する方法を身につける。 漢字の知識を深め、語彙を広げる。 日常的に使う挨拶や敬語表現を学び、コミュニケーション能力を養う。 実用的な用法ではない表現を学ぶ事で、言葉のセンスを磨く。 さまざまな文章表現について知り、実際に書けるようにする。				
		2						
		3	2 声の表現					
	5	4						
		5	3 漢字と語彙					
	6	4 人とつながる言葉						
	7	5 言葉を遊ぶ						
2 学期	9	13	9 論文作成法					
		14						
		15	7 小論文Ⅰ					
		16						
	10	17						
		18						
		19	8 小論文Ⅱ					
11	20							
	21							
	22	1 2 話し合いの方法						
12	23							
	24							
	25							
	26							
3 学期	1	27	1 0 プレゼンテーションの方法					
		28						
		29						
	2	30	1 1 面接					
		31						
		32	1 3 物語の創作					
	3	33						
		34	1 4 メディアリテラシー					
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

国語力とは、「書く」「読む」「聞く」「話す」という言語活動の総合力です。国語表現では、特に「書く」「話す」「聞く」という力に焦点をあて、バランスの取れた言語能力を育成する事を目指します。単元ごとに発表する場を設け、人前で話すことに慣れていくとともに、自己表現力を高め、入試での面接や文章作成で活用できるような国語力を育成していきます。また、漢字検定の勉強も取り入れ、この学年で漢字検定準2級または2級の取得を目指します。

教科 Subject	国語科		科目 Course	現代文	学年 Grade	3	単位数 Credits	3	
教科書 Textbook	精選 現代文B (大修館)			副教材Additional Text /materials	プレゼミ総合国語 (桐原書店) ニューグレード現代文2 (木原書店) 漢検 漢字学習トレーニング 3/準2/2級 (日本漢字能力検定協会)				
科目の目標 Course Objectives		様々な文章を読解し実践力を身につける演習形式で、主に中堅私大・国公立二次試験の入試対策をする。							
評価の基準 Assessment Standards		定期試験 (80%)、提出物・授業態度 (20%) の総合評価							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~				
1 学期	4	1	(中間試験まで)						
		2	教科書「ひかりのどけき春の日に一日本人と桜」						
		3	「どんな人になりたかったか？」						
	5	4	「夢を建てる人々」						
		5	『ニューグレード現代文2』適宜進める						
	6	『プレゼミ総合国語』適宜進める							
	6	7	7	(期末試験まで)					
8			教科書「稼ぐだけが目的か」						
9			「鉄を削る」						
10			「『検索』時代における読書」						
7	11	『ニューグレード現代文2』適宜進める							
		12	『プレゼミ総合国語』適宜進める						
2 学期	9		13	(中間試験まで)					
		14	『ニューグレード現代文2』適宜進める						
		15	『プレゼミ総合国語』適宜進める						
		16							
	10	17							
		18							
		19	(期末試験まで)						
		20	「待合室」「おぼろ月」						
	11	21	「星の王子さま」「鉄道員」						
			22	「こころ」					
			23	『ニューグレード現代文2』適宜進める					
			24	『プレゼミ総合国語』適宜進める					
12	25								
		26							
3 学期	1		27	センター対策					
		28							
		29							
	2	30	私立大学対策						
		31	国公立2次対策						
		32							
	3	33							
			34						
				35					

履修者へのメッセージ Message for Students

記述問題は、なかなか取り組みにくい難問と考えがちですが、記述問題こそが、国語の真の実力を問われます。正確な読解力と、それを文章にする表現力を地道に鍛えることが課題となります。マーク形式の問題にも対応できるようにします。毎回の授業を通して「自分で解答を作り上げる」ことの、努力をさせたいです。六年生の最大の目標は、卒業後の進路を決めさせることにあります。国語の試験のない大学は無いのだから、真面目に地道に取り組んでほしいです。

教科 Subject	国語科		科目 Course	古典	学年 Grade	3	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	新編 古典B (大修館)			副教材Additional Text /materials	新編古典B学習課題ノート (大修館) さくらさく古文単語 (浜島書店) ニューグレード古典2 (桐原書店)			
科目の目標 Course Objectives		これまで培った基礎知識を発展させ、より充実した内容の読解を目指す。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験 (80%)、提出物・授業態度 (20%) の総合評価						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	大鏡『道真左遷』		歴史物語への招待 歴史物語に慣れる。当時の文化背景を理解する。			
		2						
		3						
	5	4	源氏物語『桐壺』 源氏物語『若紫』		源氏物語への招待 源氏物語の代表的な章に触れ、源氏物語を知る。 物語に慣れる。敬語の使い方、当時の文化背景を理解する。			
		5						
	6	6	(古典文法：識別①～⑤)					
		7						
7	6	8	諸子百家の説明		諸子百家への招待 それぞれの思想家の説を理解する。			
		9						
10								
2 学期	9	11	道家・法家『無為自然』『小国力民』『混沌』のどれか 『侵官之書』		センター試験・私大試験の対策を行う。			
		12						
		13						
		14						
	10	15	『ニューグレード古典2』					
16								
11	17	それぞれ問題演習を行っていく。						
	18							
12	19							
	20							
3 学期	1	21	センター試験過去問		センター試験・私大試験・国公立対策を行う。			
		22						
		23						
	2	24	私大入試問題					
		25						
		26						
	3	27	国公立入試問題					
		28						
		29						
3	30							
	31							
32								
33								
34								
35								

履修者へのメッセージ Message for Students

5年生で学習した基礎知識を発展させ、より充実した読解を行う。枕草子や源氏物語など親しみのある作品に加え、評論や近代小説なども扱うことで総合的な知識の定着を図る。演習形式ではない丁寧な読解を行うので、ノート作りを中心にした予習は必須不可欠。積極的な姿勢で臨むようにする。

教科 Subject	国語科		科目 Course	国語総合（国語演習）	学年 Grade	3	単位数 Credits	3
教科書 Textbook				副教材Additional Text /materials	論読現代文2・3（浜島書店） アドバンス古典2（京都書房）			
科目の目標 Course Objectives		問題演習を通して、大学大学受験に備える。 実践的な実力を養う。						
評価の基準 Assessment Standards		定期試験80%、提出物、授業態度20%						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	『論読現代文2』1-13		現代文…文章を丁寧に読むこと。			
		2	『アドバンス古典2』1~4、17~18		問題の意図を理解し、答えを本文の中から探すこと。 マークは消去法で、選べるようになること。			
		3			記述は本文の言葉を拾って、自分なりにアレンジすること。			
	5	4						
		5	『論読現代文2』14-25		古文…古典単語を覚え、文法を徹底的に復習すること。			
	6	『アドバンス古典2』5~8、19~21		文章が読めるようになるためには、古典単語と文法の知識が必要になってきます。また単語と文法の知識を頭に入れるだけでも読めるようにはなりません。苦手意識を持たずに、積極的に文章を読む訓練をしてください。そうすれば問題は解けるようになります。				
	7			漢文…句法をまずはしっかりと頭にいれましょう。				
2 学期	9	13	『論読現代文3』1-10		また、漢文を読むためには古文の知識も必要になります。			
		14	『アドバンス古典2』9~12、22~23		それから書き下し文と口語訳を丁寧に付けていけば、漢文も読めるようになります。読めれば問題は解けますので、しっかりと読めるようになってください。			
		15						
		16						
	10	17						
		18						
		19	『論読現代文3』11-20		大学受験では、国語に関しては同じ問題文がでてくることはほとんどありません。その時自分が読めるかどうか勝負になってきます。そのためにも一題一題、本番のつもりで真剣に取り組んでいってほしいと思います。			
		20	『アドバンス古典2』13~16、24~26					
	11	21						
		22						
		23						
		24						
12	25							
	26							
3 学期	1	27	センター試験の演習		センター試験の過去問題を解き、本番に備える。			
		28						
		29	私立大学の入試問題演習		各自の志望大学の過去問題に取り組む。			
	2	30						
		31						
		32						
	3	33						
		34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

国語演習では大学入試を視野に入れ、実践的な問題演習に取り組んでいきます。各自の進路に向けての意欲的な態度が望まれますので、受け身の授業態度ではなく、積極的に問題演習に取り組む姿勢を忘れずに参加してください。古典に関しては、問題文のなかから重要な文法事項や句法などを書きだした自分専用の「弱点ノート」の作成をお勧めします。